

1. 研究例会など

第 60 回 『ヨーロッパ言語共通参照枠組み(CEFR)と JF 日本語教育スタンダード』

田中和美氏

2010 年 12 月

第 61 回 『JLP 上級日本語 1 -現状と課題-』

数野恵理 (日本語教育課程 特任講師)

松井咲子 (日本語教育課程 特任講師)

2011 年 1 月 19 日

第 62 回 『特別日本語 B 読解クラス -現状と課題-』

金山泰子 (日本語教育課程 講師)

2011 年 2 月 9 日

国際理解のための落語会

-落語と日本語・日本文化教育の接点を求めて-

(国際基督教大学日本語教育課程、ミドルベリー大学 CV Starr-Middlebury 東京校との共催)

2010 年 12 月

2. 教員研究活動報告(2010 年 4 月～2011 年 3 月)

日比谷 潤子

研究論文

1. 2010 年 6 月 「日系カナダ人の日本語」(高木千恵と共著)『日本語学』Vol. 29-6、pp.18-27.明治書院

講 演

1. 2010 年 7 月 9 日 地域科学研究会高等教育情報センターセミナー「ICU フォリオの導入と実践～学びのプロセスを学生が主体的にデザインする～」
2. 2010 年 7 月 13 日 私立大学キャンパスシステム研究会第一分科会「自発的学修者を育てるアカデミックプランニング」
3. 2010 年 11 月 5 日 国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会「ICU の留学生交流」

研究助成金

1. 科学研究費補助金基盤研究 (A) 移民コミュニティの言語に関する総合的研究：言語接触の実態と言語政策の影響 研究分担者

根津真知子

報 告

1. 「海外日本語教育実習の 10 年を振り返って」『ICU 日本語教育研究』7 号、2011 年 3 月、107-110 頁
2. 「2010 年度 ICU 夏期日本語教育 総括」『ICU 日本語教育研究』7 号、2011 年 3 月、121-122 頁

佐藤 豊

研究論文

1. “An Appreciation of Cross-cultural Differences through International Service-Learning at International Christian University.” In Jun Xing and Carol Hok Ka Ma, eds., *Service-Learning in Asia: Curricular Models and Practices*, pp. 31-45. Co-authored with Florence McCarthy, Mutsuko Murakami, Takashi Nishio, and Kano Yamamoto. Hong Kong: Hong Kong University Press.2010.
2. 「「を VN だ」構文の出現頻度について」『ICU 日本語教育研究』7、
ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、55-64 頁

田中和美

論文

1. 「ヨーロッパにおける CEFR と日本語教育」東京外国語大学留学生日本語教育センター編『教育 GP 世界的基準となる日本語スタンダードの構築 報告書』2011 年 3 月
2. 「CEFR と学習目標 - ロンドン大学 SOAS における一例 - 」国際交流基金パリ日本文化会館『ヨーロッパの日本語教育の現状—CEFR にもとづいた日本語教育実践と JF 日本語教育スタンダードの可能性：2010 年度 CEFR-JF 日本語教育スタンダード研修会論集』2011 年 2 月 pp.48-55.

講演

1. 基調講演「ヨーロッパにおける CEFR と日本語教育」スタンダード GP 国際シンポジウム「JLC 日本語スタンダードの今後の展望」主催：東京外国語大学留学生日本語教育センター、2010 年 11 月 27 日

研究発表

1. 「CEFR チェックリストと学習目標」2010 年度 CEFR と JF 日本語教育スタンダード研修、於アルザス・欧州日本学研究所、2010 年 7 月 6 日

半田 淳子

研究論文

1. 「涙でほとびた「乾飯」の理由—「東下り」（『伊勢物語』）再考—」『月刊国語教育』30 巻 8 号、2010 年 10 月、50-53 頁

その他の出版物

1. 『母語話者のためのリスニング教材集（CD 付）』ICU 国語教育ゼミ、2011 年 3 月
2. 「「聞くこと」の指導に関する今日的課題」全国大学国語教育学会『国語科教育研究』第 119 回鳴門大会研究発表要旨集、2010 年 10 月、242—245 頁
3. 「学校教育における村上春樹の読まれ方」『2010 世界日本語教育大会 論文集・予稿集』2010 年 7 月、1034 (0) -1034 (8) 頁

4. 「日本語母語話者のための「リスニング」問題の分析と課題—日本語教育と国語教育の連携の可能性—」『2010 世界日本語教育大会 論文集・予稿集』2010 年 7 月、1056 (0) -1056 (9) 頁

研究発表

1. 「「聞くこと」の指導に関する今日的課題」第 119 回全国大学国語教育学会・鳴門大会、鳴門教育大学、2010 年 10 月 31 日
2. 「学校教育における村上春樹の読まれ方」2010 世界日本語教育大会、国立政治大学（台湾）、2010 年 7 月 31 日
3. 「日本語母語話者のための「リスニング」問題の分析と課題—日本語教育と国語教育の連携の可能性—（松尾哲朗・水口恵子と共同発表）」2010 世界日本語教育大会、国立政治大学（台湾）、2010 年 7 月 31 日
4. 「国語教科書の中の樋口一葉」樋口一葉研究会第 23 回例会、東京学芸大学、2010 年 6 月 12 日

研究助成金

1. 「母語話者のための「リスニング」教材の開発と方法論の確立」
博報児童教育振興会「児童教育実践についての研究助成」2010 年度（1 年間）
2. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金（共同研究者）
「Non-Japanese の 4 年本科生に対する日本語教育の評価の試み」

鈴木 庸子

特別研究期間中

平田 泉

報告書

1. 教務主任報告『ICU 日本語教育研究』7、2011 年 3 月、125 頁
2. 「ICU 日本語教育課程シラバス中間報告」（尾崎久美子・小澤伊久美・数野恵理・金山泰子・黒川美紀子・佐藤由紀子・鈴木庸子・松井咲子との共著）、『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、66-85 頁

研究助成金

1. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金（共同研究者）
「Non-Japanese の 4 年本科生に対する日本語教育の評価の試み」

尾崎（渡辺）久美子

報告書

1. 「ICU 日本語教育課程シラバス中間報告」（小澤伊久美・数野恵理・金山泰子・黒川美紀子・佐藤由紀子・鈴木庸子・平田泉・松井咲子との共著）、『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、66-85 頁

研究助成金

1. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金（共同研究者）
「Non-Japanese の4年本科生に対する日本語教育の評価の試み」

その他の出版物

（音楽CD、制作協力）

1. 『よろこびたえよ——立教女学院の春～イースターからペンテコステへ～』立教女学院キリスト教センター、2010年11月

その他の活動

1. キリスト教史学会 理事
2. キリスト教史学会 学会誌編集委員
3. 『日本キリスト教歴史大事典』（教文館）改訂委員（2010年9月～）
4. 朝日カルチャーセンター 日本語教師養成講座 講師

金山 泰子

研究論文

1. 「非母語話者の「はい」と「ええ」の使い分けについて」（二宮理佳との共同執筆）『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2010年3月

報告書

1. 「中・上級学習者のための文語教育—2002年度-2009年度受講者のアンケートから探る今後の課題—」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』33号、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、2010年9月、112 - 126 頁
2. 「ICU 日本語教育課程シラバス中間報告」（尾崎久美子・小澤伊久美・数野恵理・黒川美紀子・佐藤由紀子・鈴木庸子・平田泉・松井咲子との共著）、『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011年3月、66-85 頁

研究助成金

1. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金（共同研究者）
「Non-Japanese の4年本科生に対する日本語教育の評価の試み」

小澤 伊久美

研究論文

1. 「日本語教科書に見られるステレオタイプを日本語教師はどうとらえたか—多様な日本語学習者への実践経験を持つ日本語教師へのパイロットスタディー」（丸山千歌との共同執筆）『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』18、横浜国立大学留学生センター、2011年、33-52 頁
2. 「ある若手日本語教師の海外派遣前後の意識の変容—非母語話者日本語教師との協働に関するPAC 分析インタビューより—」（丸山千歌との共同執筆）『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教

育研究センター、2011 年、33-52 頁

3. 「ステレオタイプの読解教材に学習者の留学経験はいかに反応するかー日本語学習者に対する PAC 分析法による縦断的研究からの示唆ー」(丸山千歌との共同執筆)『日本研究』、華東師範大学、2011 年 (印刷中)

報告書

1. 「ICU 日本語教育課程シラバス中間報告」(尾崎久美子・数野恵理・金山泰子・黒川美紀子・佐藤由紀子・鈴木庸子・平田泉・松井咲子との共著)、『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、89-108 頁

研究発表

1. 「日本語学習者の経験は日本語読解教材に対する反応にいかん表れるかーPAC 分析法を用いた縦断的研究からー」(丸山千歌との共同発表) 世界日本語教育大会、於台湾国立政治大学、2010 年 7 月 31 日
2. 「PAC 分析によるタイ人新人・経験日本語教師の「いい日本語教師」像の比較」(坪根由香里・嶽肩志江・八田直美との共同発表) 世界日本語教育大会、於台湾国立政治大学、2010 年 7 月 31 日
3. 「PAC 分析のデータを実施者・被検者・第三者が共に語り合うデータセッション」(内藤哲雄・能智正博・丸山千歌との共同発表：丸山千歌との共同企画) PAC 分析学会 4 回研究大会、於横浜国立大学、2010 年 12 月 11 日
4. 「PAC 分析と質問紙調査の併用によるノンネイティブ日本語教師のビリーフ研究ーあるタイ人教師の事例よりー」(嶽肩志江・坪根由香里・八田直美との共同発表) PAC 分析学会第 4 回研究大会、於横浜国立大学、2010 年 12 月 11 日

その他

1. 「ICU における帰国生・継承語学習者に対する日本語教育ー現状と課題ー」(早稲田大学川上郁雄先生科研費による発表会にて話題提供)、2010 年 7 月 19 日、於早稲田大学
2. 「科研費申請に向けて」(ICU 科研費説明会において)、2010 年 9 月 28 日、於国際基督教大学

研究助成金

1. 2007.4～至現在 科学研究費助成金 (研究分担者)
平成 19-21 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 「PAC 分析法を活用した学習者が日本語教材から受ける影響と学習者要因の解明」(研究代表者：丸山千歌、課題番号：19520449)
2. 2007.9～至現在 科学研究費助成金 (研究代表者)
平成 19-22 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 「オン・ゴーイング法と PAC 分析法の活用による日本語教師の実践的思考の解明」(課題番号：19529005)
3. 2009.4～至現在 科学研究費助成金 (研究分担者)
平成 21-24 年度 科学研究費助成金 (基盤研究(C)) 「量的・質的ビリーフ研究から海外ノンネイティブ日本語教師の研修に必要なものを探る」(研究代表者：坪根由香里、課題番号：32689)
4. 2009.4～至現在 (研究協力者)

- 平成 21-23 年度 科学研究費助成金(基盤研究(B)「継承日本語教育に関する文献のデータベース化と専門家養成」(研究代表者: 中島和子、課題番号: 21320096)
5. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金(研究代表者)
「Non-Japanese の 4 年本科生に対する日本語教育の評価の試み」
6. 2011.2 JICUF Visiting Professor としての渡邊有樹子先生招聘(企画)

数野 恵理

報告書

1. 「上級日本語 1 聴解と書き方コースの実践報告」『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、87-98 頁
2. 「ICU 日本語教育課程シラバス中間報告」(尾崎久美子・小澤伊久美・金山泰子・黒川美紀子・佐藤由紀子・鈴木庸子・平田泉・松井咲子との共著)、『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、66-85 頁

発表

1. 「JLP 上級日本語 1 - 現状と課題 - 」(松井咲子との共同発表) 第 61 回 研究例会、国際基督教大学(2010 年 1 月 19 日)

研究助成金

1. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金(共同研究者)
「Non-Japanese の 4 年本科生に対する日本語教育の評価の試み」

松井 咲子

報告書

1. 「ICU 日本語教育課程シラバス中間報告」(尾崎久美子・小澤伊久美・数野恵理・金山泰子・黒川美紀子・佐藤由紀子・鈴木庸子・平田泉との共著)、『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、89-108 頁
2. 「インターナショナルスクールの日本語教育ー小学生を対象とした日本語サマースクールにおける実践例ー」『ICU 日本語教育研究』7、ICU 日本語教育研究センター、2011 年 3 月、99-106 頁

発表

1. 「JLP 上級日本語 1 - 現状と課題 - 」(数野恵理との共同発表) 第 61 回 研究例会、国際基督教大学(2010 年 1 月 19 日)

その他の活動

1. 小出記念日本語教育研究会 研究委員

研究助成金

1. 2010.4～至現在 国際基督教大学研究助成基金補助金(共同研究者)

「Non-Japanese の 4 年本科生に対する日本語教育の評価の試み」

3.教職員一覧

日本語教育研究センター教員（教養学部と兼任）

日比谷潤子

根津真知子 2010 年度夏期日本語教育ディレクター及び『ICU 日本語教育研究』編集委員長

佐藤 豊

田中 和美 日本語教育課程 主任、日本語教育研究センター長、(2010 年 9 月 1 日着任)

半田 淳子

鈴木 庸子

平田 泉 2010 年度夏期日本語教育教務主任・『ICU 日本語教育研究』編集委員

尾崎久美子 日本語教育課程 副主任

金山 泰子

小澤伊久美

数野 恵理

松井 咲子 (2010 年 4 月 1 日着任)

日本語教育研究センター嘱託

朝倉 怜子 日本語教育研究センター事務